

アプリケーションとアプリ

「アプリケーション」と「アプリ」をどのように使い分けておられますか。

「アプリ」は「アプリケーション」の省略形として使われ始め、同じものだと思っていましたら、現在は、別物になっています。

現在、スマートホンの OS である iOS や Android では、インストールできる追加ソフトを「App」や「Apps」と表記し「アプリケーション」とは呼ばずに「アプリ」と呼んでいます。

Windows では、バージョン 8 以降「アプリケーション (Application)」は、それ以前からの Windows 向けアプリケーション（「メモ帳」や「Word」、コマンドツールなどのバイナリ）をいい、「デスクトップアプリ」や「Win32 アプリケーション」と表現されることもあります。

一方「アプリ (Apps)」は、Windows ストアから入手できる（あるいは Windows にビルトインされて提供される）、バージョン 8 以降からの“新しいタイプのアプリ”のことです。こちらは、以下のようにさまざまな別の呼び方があります。

- ストアアプリ (Store Apps)
- Windows ストアアプリ (Windows Store Apps)
- Windows アプリ (Windows Apps)
- ユニバーサル Windows プラットフォームアプリ (Universal Windows Platform Apps)
- UWP アプリ (UWP Apps)
- モダンアプリ (Modern Apps)
- モダン UI アプリ (Modern UI Apps)
- メトロアプリ (Metro Apps)
- メトロ UI アプリ (Metro UI Apps)
- Immersive アプリ (Immersive Apps)。

英語表記は「Apps」となっていますが、日本語では「アプリ」というため、「アプリケーション」との使い分けが複雑になっています。

Windows10 の「アプリ」は、パソコンのみでなく Windows 10 Mobile や Xbox や HoloLens でも動くということで、スマートフォンでも動くだけでなくすべてのプラットフォーム（デバイス）で動くものです。これはもともと Windows の設計の目的でした。

ところで、Windows10 のバージョン 1703 で、インストールできる「アプリ」は「ストアアプリ」だけに制限できるオプションがあるのをご存知ですか。

設定の「アプリ」の「アプリと機能」に「アプリのインストール」という項目があり、「アプリを取得できる場所を選択します。ストアのアプリのみをインストールすると、PC を保護しながらスムーズな動作を維持できます。」との注釈の元「ストアのアプリのみ許可する」「ストア以外からアプリをインストールする前に警告する」「任意の場所のアプリを許可する」が選択するようになっています。